

三園一丁目町会

三園一丁目町会は、今年で町会創立から50周年となります。区内では設立が遅い町会かと思います。今の三園一丁目は、昭和38年頃から44年まで概ね5年を要して、当時の徳丸ヶ原の低湿地帯を区画整理して誕生しました。現在の町は、東側に首都高速5号線が走り、大規模な施設としては成増厚生病院があります。インフラが整備され、生活環境が程よい閑静な住宅地として、2943世帯、5756名の住民の方が生活しています。

町会活動は、絆と支え合いによる安心・安全な生活環境を望むことで、交通安全、防犯・防災、環境美化など、あらゆる方面での活動や運動を推進しています。さらに、会員相互の親睦と懇親を深めていくことで、町会行事では、会員の手づくりによる、盆踊り大会・神輿まつりが行われています。企画イベント運営は、多くの方の協力により、アトラクションの演技、模擬店など、参加者が楽しみながら交流を図り、楽しいひと時を過ごすことができます。最近では、コロナ禍により町会活動が出来ないため、1日も早く感染症が終息し、通常の生活が戻ることを願っております。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています